



夕方、取材に尋ねて行くと、大家の山元利美さんが網戸を張っている姿を真剣に見ていたのはもうすぐ4歳になり、とても愛嬌のある袖ちゃん。その奥から子供を抱いて現れたのは、今回取材に応じていただいた石田康人さん。

噂どおりの「ヨカニセ」さんで、夫婦そろって美男・美女の家族である。

康人さんは、小さい頃から競輪選手を目指して、南大隅高校の自転車部に入部し、23歳まで競輪のプロを目指していたが、ヘルニアを発症したため断念したとのこと。

康人さんに競輪選手を目指していたきっかけは？と尋ねると、「祖父や叔父が競輪のプロだった為、物心ついた頃から自転車に触れていたのが、当たり前のことだと思っていた。」と話した。

その後、県外に就職していたが、高校の先輩でもある木下唯

錦江に生きる

From young people in the future

◎このコーナーでは、町内でこれから根を張っていくと頑張っている若者を中心に紹介していきます。第50回目は、西大原自治会の石田康人さんです。

◎50人目

石田 康人 さん 【西大原自治会】



「後ろに見える自転車で将来錦江町を走りたいと話す康人さん」

一さんの勧めでUターンし、現在は経済連田代子豚供給センターに勤めている。供給センターでは、子豚2,500頭を管理しており、毎日、子豚の健康状態やウイルスに感染していないか、とても気を使う仕事をしている。康人さんは、現在「スキップ」というチームでバレーボールをしており、8月中旬には、静岡県で開かれる全国大会に出場するため、毎週練習に励んでいるとのこと。

もう、自転車はされないんですか？と尋ねると、「…妻の許可が。」と答えが返ってきた。奥さんの梢さんは、康人さんのヘルニアがぶり返さないか心配のようで、康人さんが自転車に乗りたがっているのは分かっているが、許可を出せない様子。今回の取材に対して、康人さんに応対の原稿を書いてあげるなど、川原保育園に勤務しながらも家庭を大事にするしっかり者の奥さん。

康人さんにはすっかりした奥さんですねと尋ねると、『そうでもないですよ。最近も転居の手続きに行つて印鑑を忘れ、用紙だけもらつて帰つたんですよ。』と話した。

康人さん家族は最近、西大原自治会に引っ越し、取材日も地域の方々に挨拶回りにいくとのこと。

最後に、大原地区に転居してどうですか？と尋ねると、「妻の実家も近いし、自然が多くとても気に入っている。ただ、長女の同級生がいないので、若い家族が増えてほしい。」と話した。

康人さんは、家族思いでスポーツ万能の好青年でした。

今月の表紙

【神川剣道スポーツ少年団】

右	上	右	下	
水流 涼真 (6年)	菖蒲 桂太 (1年)			
正岡 航大 (4年)	菖蒲 桂登 (3年)			
岩月美寿寿 (5年)	西田 響 (3年)			
上鶴 崇修 (5年)	木場真愛耶 (1年)			
桑原 直也 (監督)				

【一言コメント】

1年生から6年生まで計8名で活動しています。他のチームが5、6年生主体のチームに対し、3年生から6年生までという編成ですが、チームワークでは他のどこにも負けない自信があります。

先日、日本武道館で行われた全国大会では惜しくも2回戦敗退という結果に終わりましたが、来年こそは上位進出を目指して稽古にがんばっていきましょう。また、日本武道館という大舞台ですばらしい経験をさせて頂いたことに感謝するとともに多数のご支援ご協力頂き誠にありがとうございました。なお、神川剣道スポーツ少年団では町内外問わず団員を大募集しております。興味のある方はご連絡下さい。

連絡先：役場建設課 桑原まで TEL22-3033



EDITORS

●錦江町の夏はイベントが色々ある。夏祭りや、まるごと体験ツアー、やまんなか音楽会、錦江レゲエ祭祭りなど…

それに合わせて広報マンとしても写真の腕前が問われるが、中々アングルや写真の見せ方、特に花火の写真

などイメージと違つたりとまだまだ勉強が必要な～と感じている。夜のイベントが多いので、イベントをしながらも写真の腕前も磨かなければ…。暑い夏になりそうだ。☺



発行／錦江町役場

■編集／企画課 〒893-2392 鹿児島県肝属郡錦江町城元963番地 tel.0994-22-3032 fax.0994-22-1951

■ホームページ／http://www.town.kinko.lg.jp/ ■印刷／(有)南大隅新報社印刷

